



令和4年度 基本評価調書①		所管部局	建設部	所管課	建築指導課		
施策名	住宅の脱炭素化の促進			施策コード	0804		
政策体系(中項目)	多様な主体の協働による社会システムの脱炭素化			政策体系コード	1(4)A		
関連重点戦略計画等	地球温暖化対策推進計画					事務事業数	2
SDGs			総合判定		概ね順調		
予算額(千円)	R4	113,032	R3	—	R2	—	

施策目標	脱炭素社会の実現に向けた持続可能で豊かに暮らせる良質な住宅ストックの形成・循環を図る。					
現状と課題	脱炭素化に向け、住宅の断熱・気密といった性能向上や高効率設備の使用による省エネ化、太陽光発電設備等の創エネ、温室効果ガスの吸収に寄与する木材の利用等の更なる取り組みが求められている。					
前年度二次評価意見				対応状況(R4.3時点)		

	今年度の取組	実績と成果
主な取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・良質で安全な住宅ストックの形成を図るため、高い省エネルギー性能と耐震性能等の基準を満たした北方型住宅を普及推進する。</li> <li>・積雪寒冷な北海道の気候風土に適したネット・ゼロ・エネルギー・ハウス(ZEH)モデルの検討・普及のほか、既存住宅の省エネルギー改修の促進を図る。</li> </ul>	<p>【北方型住宅の普及推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・住宅建設に携わる技術者の専門知識の習得や技術力の向上を図るため講習会を開催(R3年度受講者数:298名)</li> <li>・道が登録する優良な住宅事業者(きた住まいるメンバー)の登録数:298(R2年度末)→323(R4.7末現在)</li> </ul> <p>【ZEHモデルの検討など】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・北海道の気候風土に適したZEHモデルの開発などに向けた有識者会議を開催(R3年度3回、R4年度2回)※R4.7末現在</li> </ul>

連携状況	「ゼロカーボン北海道推進本部」のWG会議を庁内関係部局や北海道立総合研究機構と開催、学識経験者などの専門家による民間住宅施策推進会議の開催、脱炭素社会の実現に向けた持続可能で豊かに暮らせる良質な住宅ストックの形成・循環に向けて、市町村の推進する施策と連携。
緊急性優先性	ゼロカーボン北海道の実現に向け、ZEH導入の推進に必要な技術開発や財政支援などを国等に対し提案・要望を実施するとともに、民間住宅施策推進会議などで専門家から積雪寒冷な気候風土に適したZEHモデルの開発に係る意見聴取を実施。

令和4年度 基本評価調書②	施策名	住宅の脱炭素化の促進	施策コード	0804
---------------	-----	------------	-------	------

〈成果指標の達成状況〉 ⇒ 3つ以外の指標は、補助指標調書に記載

指標名①	増加	%	R1年度	R2年度	R3年度	最終目標(R12)	達成率	指標判定
省エネ基準を満たす住宅ストックの割合	目標値		22	23	24	40	95.8%	B
	実績値		21	22	23			

設定理由 2050年のゼロカーボン北海道の実現には、住宅分野における省エネ性能の確保が重要であることから、住宅ストックの省エネ性能の状況を指標として設定

分析（主な取組と成果）

北方型住宅の普及推進を図るとともに、市町村における脱炭素社会に向けた取組を支援し、省エネ基準に適合する住宅ストックは増加してきている。

指標名②			R2年度	R3年度	R4年度	最終目標()	達成率	指標判定
	目標値						-	-
	実績値							

設定理由

分析（主な取組と成果）

指標名③			R2年度	R3年度	R4年度	最終目標()	達成率	指標判定
	目標値						-	-
	実績値							

設定理由

分析（主な取組と成果）

【総合判定】

連携状況	○	緊急性 優先性	○	指標判定	B	総合判定	概ね順調
------	---	------------	---	------	---	------	------

	対応方針番号	内容
翌年度に向けた 対応方針	①	引き続き、高い省エネルギー性能と耐震性能等の基準を満たす北方型住宅の普及推進や積雪寒冷な北海道の気候風土に適したZEHモデルの検討・普及、既存住宅の省エネルギー改修の促進を図る。
	②	
	③	

令和4年度 基本評価調書③	施策名	住宅の脱炭素化の促進	施策コード	0804
---------------	-----	------------	-------	------

<二次政策評価>

R4年度 二次政策 評価	
--------------------	--

二次政策 評価への 対応			
R5 施策の 方向性	対応方針番号	方向性	関連する事務事業 (新規・拡充)
	①	ゼロカーボン北海道の実現に向けた省エネ住宅の取得・改修等や集会場等の省エネ改修等への支援を市町村と連携して実施するとともに、高い省エネルギー性能と耐震性能等の基準を満たす北方型住宅や既存住宅の省エネルギー改修の普及促進を図るほか、再生可能エネルギーや道産木材など脱炭素化に資する対策を取り入れた「北方型住宅ゼロ」を展開する。	新規： 住まいのゼロカーボン化推進事業
	②		
	③		
R5新規事業数	1		

令和4年度 事務事業評価調書	施策名	住宅の脱炭素化の促進	施策コード	0804
----------------	-----	------------	-------	------

整理番号	重複施策	経費区分	事務事業名	事務事業概要	課・局 室名	令和4年度						令和4年度		ACTION 結果への対応(令和5年度)		
						前年度からの繰越事業費(千円)	事業費(千円)	うち一般財源	執行体制			フルコスト(千円)	一次政策評価		次年度方向性	二次評価意見への対応状況
									本庁	出先機関	人工計		対応方針番号	方向性		
0904	0809	投資的経費 A	きた住まいる推進事業費	・北海道の気候風土に根ざした質の高い住宅である「北方型住宅」の取組を進めるとともに、これを支える道内事業者による良質な住宅を道民が安心して取得できる仕組みである「きた住まいる制度」の取組を進める	建築指導課	0	40,561	22,309	1.9	0.0	1.9	55,351				
0905	0809	投資的経費 A	民間住宅等関連事業推進費	・北海道住生活基本計画の推進のため、安全・安心の住まいづくり支援、既存ストック有効活用推進、空き家対策、住宅産業活性化支援等を行う	建築指導課	0	72,471	39,859	6.0	0.3	6.3	121,510				
計						0	113,032	62,168	7.9	0.3	8.2					